

環境レポート2017

2016年4月～2017年3月（平成28年度活動）



コンテンツ

- 当社の環境活動の特徴
- 体制図
- 環境中期目標
- 温暖化対策
- 環境パフォーマンス
- 平成28年度の環境目標・実績
- 平成28年度の環境活動



日本無線硝子株式会社

代表取締役社長 依田 正樹

環境方針 基本理念

私たち日本無線硝子株式会社は、ガラス製品づくりにともなって発生する環境への負荷を可能な限り低減し、持続可能な社会の構築に貢献します。
ものを活かし、人を活かすために、考え続ける集団を目指します。

※環境方針の詳細は、弊社のホームページをごらんください。（www.jrg.co.jp）

□ 当社の環境活動の特徴

日本無線硝子は「公平で誠実な事業活動を通じてお客様によろこばれる価値を提供し、豊かな社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、ガラス製品の製造販売事業のあらゆる段階で環境保護の重要性を認識し、地球環境の保全、環境負荷の低減を継続的に推進していきます。

適切な資源・エネルギーを選択し、その使用量を適切に管理し、お客様に最大の価値をもたらす製品を提供することにより、持続可能な社会の構築に貢献します。

埼玉県の「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050（地球温暖化対策実装計画）」に対応し、「目標設定型排出量取引制度」を規準として、二酸化炭素排出量を基準年度比15%削減することを目標に取り組んでいます。

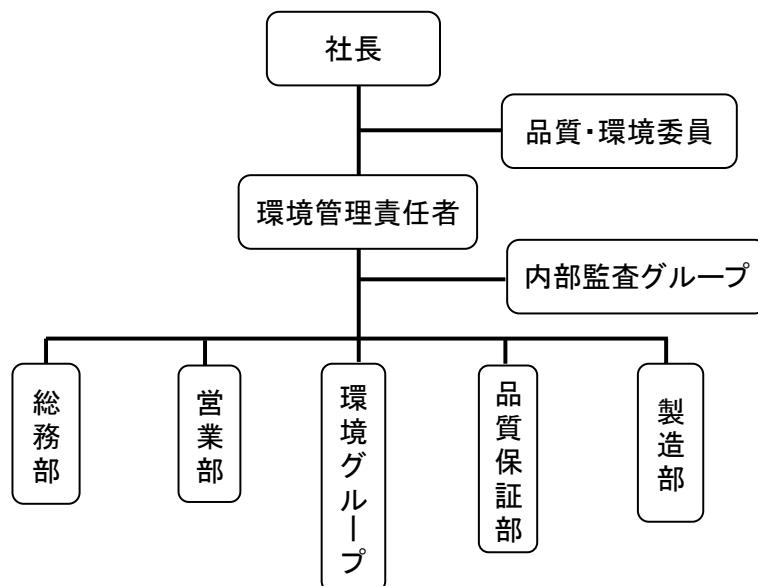
当社の事業の特徴は、ガラス職人の高度な技能から生まれる質の高い製品の成型・加工にあります。これらの製品は、イカ釣り集魚灯などの特殊放電灯やX線管・イメージ管など医療用機器、さらには宇宙の謎を解き明かすカミオカンデの光電子増倍管まで、多岐に渡り社会に貢献しています。

これからも、限りある資源やエネルギーをいかに有効に活用するか、職人技能と生産設備との共存を目指し、日夜努力して参ります。

ここに「環境レポート2017」をまとめました。私たちの環境への取り組みとその現状についてご一読いただき、ご意見をいただければ幸いです。

2017年7月

□ 環境マネジメント体制図



※環境関連法定管理者

当社は第2種エネルギー管理指定工場

です。

エネルギー管理士、公害防止管理者、
その他の法定管理者が選任され、活動
しています。

□ 環境中期目標

1. 地球温暖化対策を強化し、環境にやさしい事業活動を目指す

平成27年度～31年度のCO₂排出量の平均値 基準値比15%削減

(県条例は13%削減)

基準値：5,542t-CO₂* (平成17年度～19年度平均値)

*県の電気の換算係数変更が基準数値に反映されております。

*これは、埼玉県の目標設定型排出量取引制度に対応したものです。

2. 環境負荷の低減

産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

上乗せ目標	基準値	埼玉県条例：第2計画期間				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	目標量	5,542	4,711	4,711	4,711	4,711
	削減率		15%	15%	15%	15%
	実績		4,654 (16%減)	5,388 (2.8%減)		

□ 温暖化対策（中期計画）

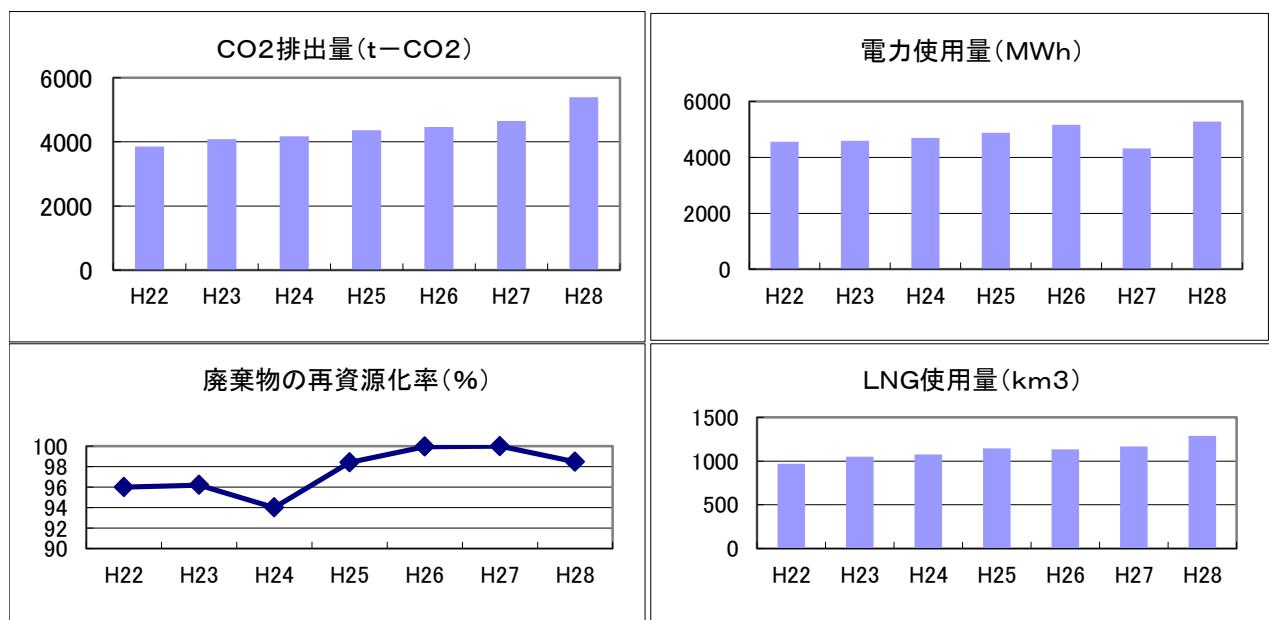
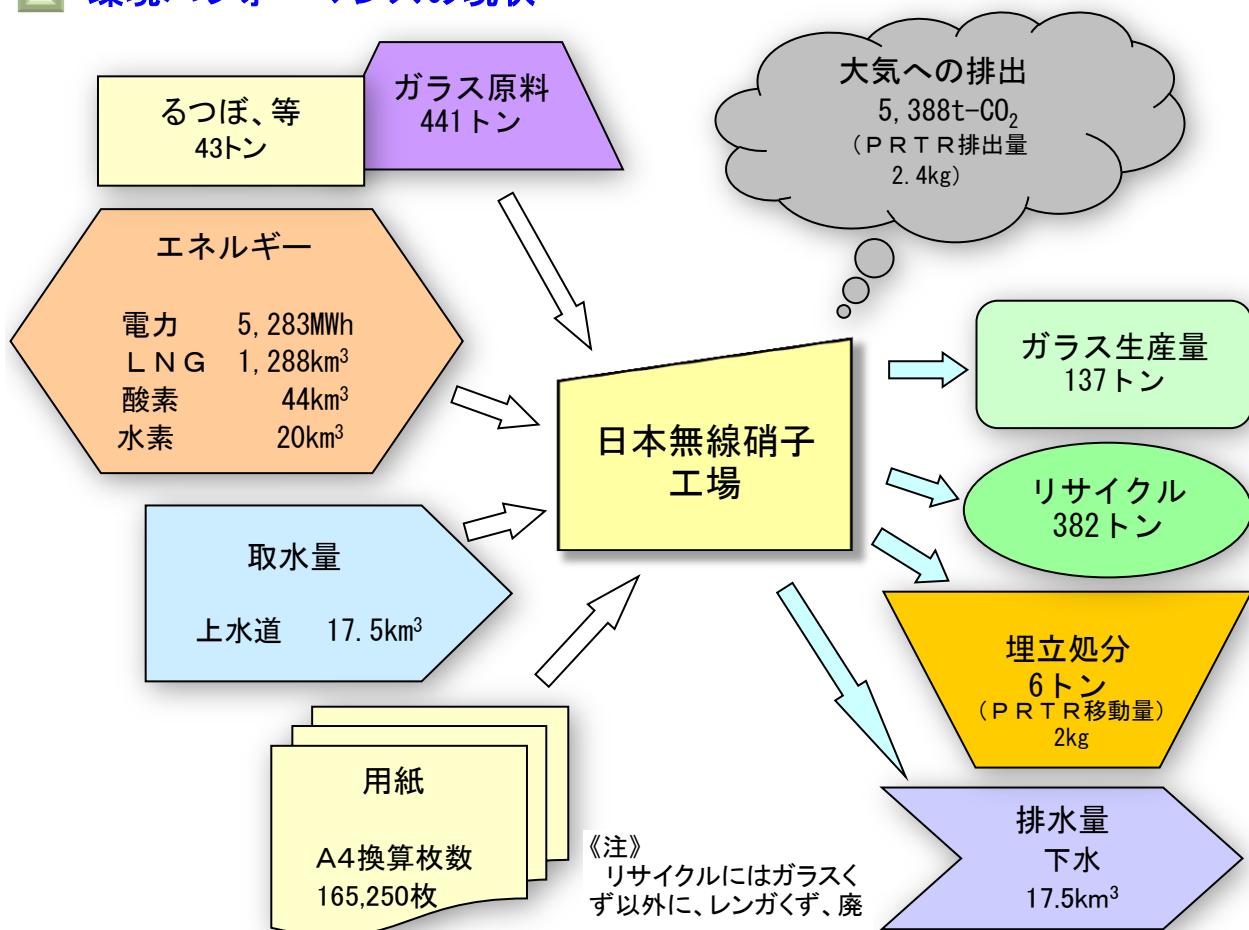
1. 電力使用量削減の取り組み

- 成型現場の作業用大型エアコンの更新
- 電気炉の運転方法の改善
- 成型作業の半自動化研究

2. LNG使用量削減の取り組み

- ガラスカットの自動化研究
- 小型炉の運転手順見直し

□ 環境パフォーマンスの現状



■下水排水水質分析結果

定期的に採水し分析していますが、BODや鉛、砒素等の値は、規制値を大きく下回っています。（一度、砒素の値が基準を超ましたが、それ以外は規制値内です）

	法規制値	測定値
BOD (mg/l)	600	27.5
SS (mg/l)	600	42
鉛化合物 (mg/l)	0.1	0.01未満
砒素化合物 (mg/l)	0.1	0.035

□ 平成28年度の環境目標とその実績

1. 地球温暖化対策の強化

目標：CO₂排出量を、平成17～19年度平均値を基準とし、15%削減
(県条例は13%削減)

実績：基準値 5,542 t に対し、平成28年度 5,388 t 2.8%削減

★目標を大幅に下回りました。

電気・LNGとも前年を上回る使用量となり、省エネの対策が急務です。
設備更新や設備運用の工夫、LEDの推奨などを進めてまいります。

2. 環境負荷の低減（環境保全の継続的取り組み）

目標：産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

実績：98.46%

★目標を達成しました。

一部、工場の用途変更に伴い、古い残ガラス処理でリサイクル率を低下させましたが、それ以外はほぼ100%再生可能にしております。今後、処理の平準化などで、不要処理の定期的処理を進めます。

□ 平成28年度の環境活動

1. 作業及び工程見直しによるエネルギー効率向上を目指す

当社のCO₂排出量の99%は電力とLNGが占めており、それぞれほぼ半々の割合です。従って電気炉と坩堝のエネルギー管理が重要と考え、管理手法の研究に継続して取り組んでおります。

2. 環境整備

環境法に基づいた対応を行っており、設備の改善・点検強化等の施策を図り、法順守を強化してきました。また、従来お金を支払い処理をしていた廃棄物を見直し、一部は有価売却することで費用を抑える努力を行っています。

3. 生物多様性への対応

■ 平成27年3月からNPO主催の近隣の新河岸川清掃美化活動に参加しております。また、社内にガラスバルブを流用したビオトープを設置しております。



4. 社会貢献

■ エコキヤップ運動に継続して取り組んでおります。平成28年度は、約18,000個回収し、ポリオワクチン46名分相当となりました。



日本無線硝子株式会社
〒356-0011
埼玉県ふじみ野市福岡
2-1-8

発行:環境グループ